縹十五句

松岡隆子選

立ち上るやうな草ぐさ雪解どき　渡辺あつ子

橋の上橋の下にも春立ちぬ　唐木和世

二月来と医通ひの眉太く描く　小山陽子

まんさくの空をくすぐるやうに咲く　平沢千恵子

母在さばけふが百歳梅かをる　室井千鶴子

春落葉閑かに積もる療養後　染谷晴子

紙の舟紙の飛行機竜天に　川上昌子

卒業や父の一言光とし　佐藤郭子

雪晴やしんと大気の透き通り　植草京子

道どこも迂回路ばかり茎立ちぬ　広渡詩乃

春寒し寒しと外を掃いてをり　梶浦道成

水の声木の声寒の明けにけり　醍醐喜美枝

生姜湯を吹き零しては半寿かな　小村絹代

独り居にまた朝が来る雪解風　松浦いね子

どんど果て灰の中より達磨の目　町田洋子